

ACTION

アクションポーズ

ザク・マシンガン改



DETAIL

各部ディテール

プロペラント・タンク



シールド



※一部の写真はバンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用しています。

RMS-119 EWAC ZACK

BLUE FORCE'S MOBILE SUIT RECONNAISSANCE TYPE

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RMS-119
 TOTAL HEIGHT : 19.2m
 WEIGHT : 41.6t
 TOTAL WEIGHT : 73.5t
 GENERATOR OUTPUT : 1430kw
 SENSOR EFFECTIVE RADIUS : 26000m
 MATERIAL : TITANIUM ALLOY
 AND CERAMICS COMPOSITE
 ARMAMENTS :
 ZAKU MACHINEGUN CUSTOM



RADOME

レドーム

REAR VIEW

リアビュー



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

- 本体等 (濃い青):
インディブルー (80%)
+ニュートラルグレー (20%)
+ブラック (少量)
- 腕部、脚部等 (薄い青):
スカイブルー (70%)
+ミディアムブルー (30%)
+ホワイト (少量)
- 関節等:
ニュートラルグレー (95%)
+レッド (5%)
+ホワイト (少量)
- 胸部インテーク等:
モンザレッド (100%)
- 武器等:
グレー (80%)
+ブラック (10%)
+レッド (5%)
+ブルー (5%)
- 背部レーダー等:
オレンジイエロー (50%)
+イエロー (50%)

1/144 SCALE

HG
 UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2009 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は塗装してあります。

0159440



△ 警告 (けいこ)

保護者の方へ必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

△ 注意 (ちゅうい)

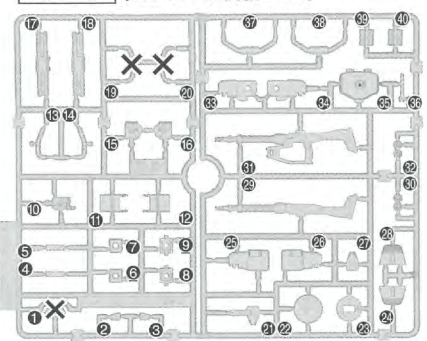
●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

接着をするところ	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側と同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意
切り取る場所	×2 部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動かします

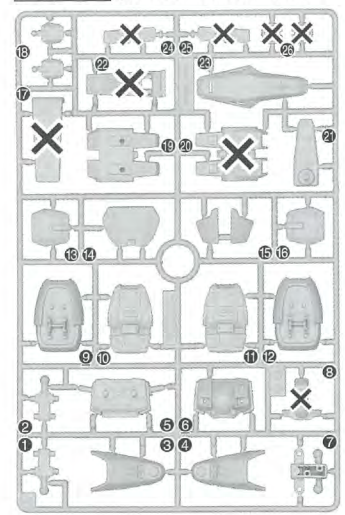
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

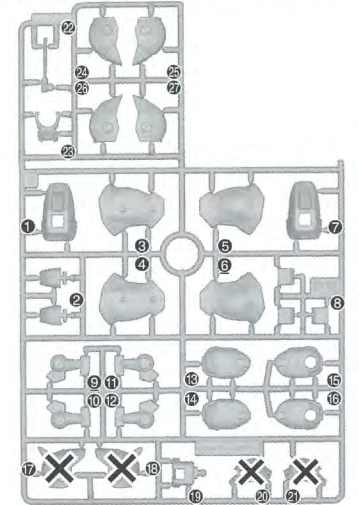
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



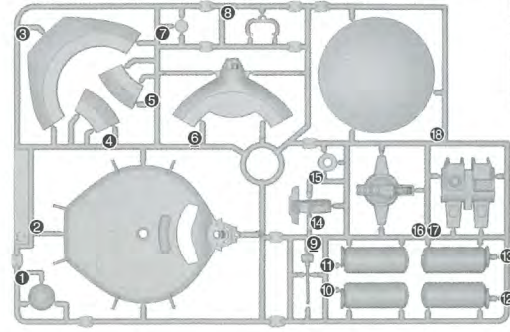
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



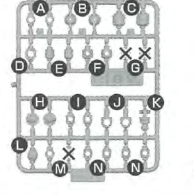
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



<PC-123プラス>
(ポリエチレン: PE)



●シール.....1

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

1

2

3

4

5

6

7

8

※PC⑨を倒します。

180度 裏返します。

※反対側も差し込みます。

9

⑧ (向きに注意)

10

15

※きれいに切り取ります。

B11(B10)

※きれいに切り取ります。

C7(C1)

180度 裏返します。

16

11

180度 裏返します。

※反対側も差し込みます。

12

⑪ (向きに注意)

17

(後に組む)

⑩ (向きに注意)

※くぼみのある方

18

19

13

⑬で作ったマシンガン

14

モノアイの可動

⑤で作った頭部

※ここを動かします。
(下から見た図)

⑬で作った左腕

⑩で作ったボディ

⑩で作った右腕

20

(後に組む)

⑪ (向きに注意)

※くぼみのある方

21

RMS-119 EWAC ZACK

RMS-119 アイザックは、グリプス戦役初期の地球連邦軍の主力MS（モビルスーツ）であったRMS-106 ハイザックを偵察用に改造して電子戦に特化した機体である。M（ミノフスキー）粒子の電波障害効果は絶大であり、いわゆる長距離レーザーやミサイルの遠隔誘導は無効化された。U.C.（宇宙世紀）0079年に勃発した一年戦争以降、直接目視による戦闘が主要戦術となったものの、艦艇やMSには依然として赤外線/レーザーセンサーなどとともにレーザーは不可欠のものとして装備されている。なぜなら、M粒子は急速に拡散する特性があり、戦闘時には濃度を維持するため頻りに散布を繰り返す必要があるからである。そのため、戦時下であっても領域によって濃度にはムラがあり、逆に言えば、平時の航行や移動に関してレーザーなどのセンサーは依然として運用すべき装備なのである。さらに、M粒子の分布する領域を検証することそのものが有効な索敵手段として機能するケースもある。実際、一年戦争当時のジオン公国軍は、ザクを改造した強行偵察機を数機開発し、それらにはM粒子による電磁波の伝播障害を算出するデバイスが搭載されていた。U.C.0083年頃には地球連邦軍に於いても通常の索敵手順として採用されていた。電子戦が無効化されたとは言え、それに適応した索敵、偵察行動の有効性は疑いようのないものだったのである。本機の最大の特徴である頭部と一体化したレドームは、大型のバッシブ・レーダー・システムであり、敵機が発するレーザー波などを超長距離から正確に探知する。また、ドーム下面には後方/対地監視用のモノアイを装備しており、高々度からの光

字撮影も可能である。レーザーや赤外線を用いたスキャンシステムも専用のスペックのものを装備しており、M粒子散布下であっても通常のMSの倍以上の距離を高い分解能で観測することができる。収集したデータはバックアップに装備した指向性のディスクアンテナによって送信するが、直接通信が不可能な場合には、強固な物理防護を施されたデータ・ポッドに記録して放出する。ポッドは味方に回収されるまで特殊な周波数で識別コードを発振し続け、記録されたデータも解除コードを入力しない限りデコードできず、手順を誤ればデータは破壊され、敵の手に渡るのを防いでいる。基本的には偵察専用のMSであり、重量バランスなど戦闘には不向きな機体だが、ハイザックが運用する火器は全て使うことができる。胸部を改造した探査ユニットや自律AI搭載ポッド、頭部形状の異なるバリエーション機なども計画されていたようだ。開発したのは地球連邦軍だが、U.C.0088年8月29日のネオ・ジオンによるダカール侵攻の際に、他の機体とともにネオ・ジオンおよび反連邦組織の手に渡った。

プロベラント・タンク

単騎での超長距離移動を任務とする場合が多く、また、敵性哨戒レンジ内への侵入と離脱を可能とするため、大容量の燃料剤を積載している。

SPEC

型式番号：RMS-119
 頭頂高：19.2m
 本体重量：41.6t
 全備重量：73.5t
 ジェネレーター出力：1430kw
 センサー有効半径：26000m
 装甲材質：チタン合金セラミック複合材
 武装：ザク・マシンガン改

脚部スラスター

ユニット自体はハイザックのものを流用しているが、バーニアスラスターの燃焼室やジンバルが強化されている。

ザク・マシンガン改

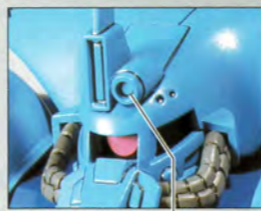
基本構造はジオン公国製のザク・マシンガンとほぼ同等で、光学系のセンサーを地球連邦軍の規格に合わせただけの火器。ただし、精度はジオン公国製のものより向上している。



レドーム

各種探知機器と、その情報を統括するデータシステムが搭載されている。最大解像度で運用する際は、機体の排熱を最小限度まで絞り込む。状況によって内部のディスクユニットが物理的に回転して全周囲を走査する。

パワーサプライヤー



アクティブレーザーセンサー
 航空艦艇クラスの射程をもつアクティブレーザーセンサーユニット。頭頂部のオプティカルセンサーとの協調運用も可能。

グランドセンサーアンテナ
 宇宙空間では頭部ブレードアンテナのサブおよび複数の周波数帯を補完するリンカー・システムを構築する。重力下では対地用のグランドセンサーとして機能する。



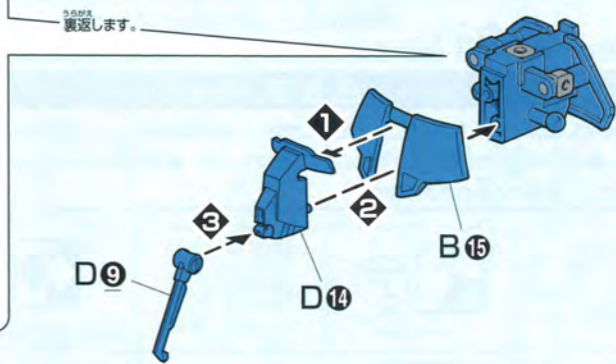
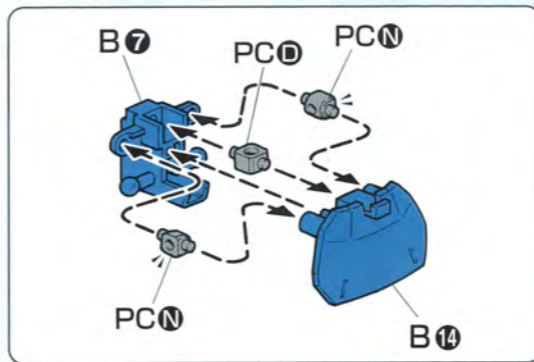
データ・ポッド

収集、記録した情報を味方に送るためのもの。識別コードを発信し、物理的にも電子的にも何重もの情報漏洩防止手段が講じられている。

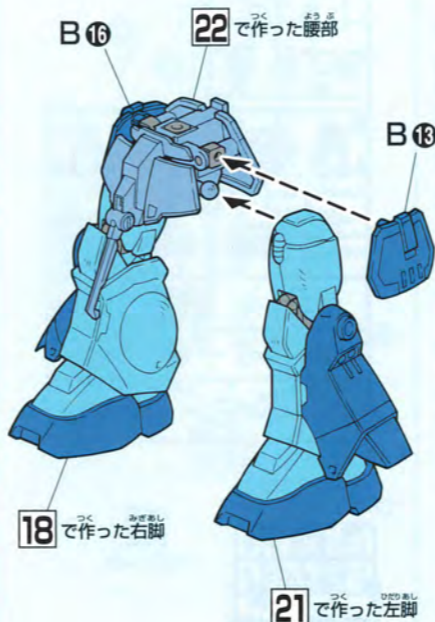
通信用ディスクアンテナ

複数形状のアンテナを内装し、強力な指向性を発揮するレドームユニット。左側のユニットは後方監視のためのリア・シーカーである。

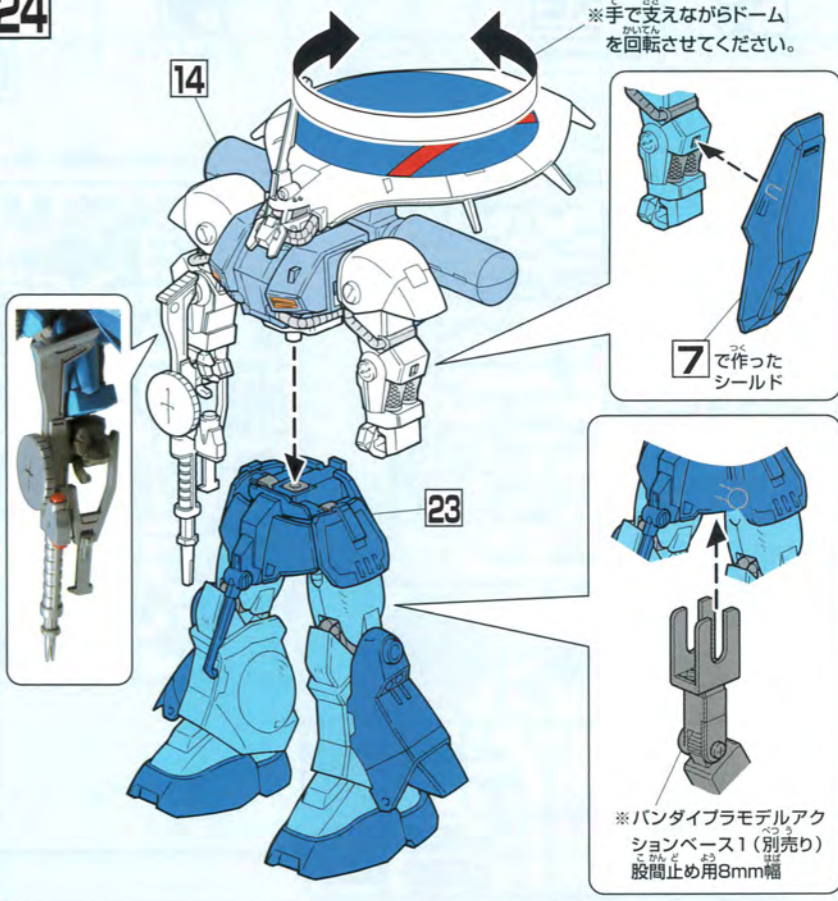
22



23



24



RMS-119 アイザック

アイザックは、TV作品「機動戦士ガンダムZZ」などに登場する偵察用MSである。U.C.0088年10月9日、ネオ・ジオンの地球侵攻に対抗すべく地球に降りたアーガンは、何度かの戦闘を経てアフリカ大陸を転戦。補給のためガルダーヤへと向かう。Zガンダム、Mk-II、ド・ダイ改で先行したジュードたちは、メンバーとのトラブルからコア・ファイターで出奔したルー・ルカを探すつもりだったが、ガルダーヤの近くで青の部隊に襲撃される。アフリカの独立運動とジオン独立戦争、民族紛争が運命となって結成された青の部隊は、フランク（=白人）が支配するガルダーヤの制圧を目論んでいた。そこに、アイザックの遠距離センサーがジュードたちの接近を感じたので、トフレグ族のプライドを掲げていきり立つエロ・メロエは、ジュードたちを敵と決めつけ、隊長のデイドー・カルトハを無視して出撃。ジュードらに襲いかかる。アイザックとレプリカのディザート・ザクが乗乗するベース・ジャバーに襲われたジュードたちは、消極的な防戦につつまれ危険に陥る。地上に降りたエロ・メロエのディザート・ザクと対峙したジュードが問いかける。「何者だ!! ジオンか? アクシスか!」「そんなつまらないもんじゃない、青の部隊だ!! 民族の誇りを掛ける気だにジュードは圧倒される。その一方で、エルのMk-IIとイノノド・ダイ改がアイザックを撃破していた。「やったあ」「うっ、まだまだ!!」アイザックを襲っていたベース・ジャバーは、ひるむ事なくビーム砲でMk-IIを倒す!!



この商品には、アイザック1セット以外はありません。

●写真はイメージです。